

しもつけし
ぎかい
だより

令和6年2月15日発行

令和5年第4回定例会 12月議会

—— 今号のポイントは？ ——

- 令和5年度各会計補正予算等 … P 2
- 13名の議員が市政を問う 一般質問 … P 8
- 各委員会の行政視察調査報告 … P 15～
- 読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ … P 16



議場は満席と
なりました



4年ぶりに議場コンサートが開催されました
ケーナ演奏グループ「虹の音」の7名の皆様、
ありがとうございました

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



令和5年第4回
定例会
11月30日(木)~12月15日(金)

令和5年第4回定例会は、11月30日から12月15日までの16日間の会期で開催されました。

市長提案（追加議案含む）により、諮問1件、令和5年度補正予算10件、条例の一部改正等10件や指定管理者の指定等の計30件が提出されました。また、陳情1件の審査が行われたほか、一般質問では13人の議員が市の対応や考え方を問いました。

令和5年度各会計補正予算を議決

一般会計補正予算
(第5号)

国・県支出金、社会資本整備総合交付金確定に伴う補正計上

一般会計の歳入・歳出にそれぞれ8億7,871万3千円を追加し、予算総額を290億563万3千円としました。歳出の主なものとしては、障がい者給付事業に1億4,663万4千円、別処山公園A球場ナイターLED化事業に1億1,969万1千円、福祉タクシー事業に1,091万8千円、天平の丘公園・西原公園・日酸公園・小中学校内のクビアカツヤカミキリ被害木（※）伐採費として計822万9千円等を計上しました。

（※）クビアカツヤカミキリ被害とは・・・クビアカツヤカミキリは、サクラやモモ、ウメなどバラ科を中心とした多種の樹木を加害することで知られる外来種です。幼虫が樹木の内部に侵入すると、1～3年かけて樹木の内側を食い荒らします。その結果、樹木は弱り、やがては枯れてしまいます。落枝や倒木等の人的被害が発生するおそれがあるだけでなく、農作物や生態系に被害が拡大するおそれもあります。栃木県内でも被害が拡大しており、市内の被害樹木を伐採します。

↓クビアカツヤカミキリ



クビアカツヤカミキリ被害等について
(栃木県HP)

一幼虫による食害で樹木が衰弱
被害樹木の周囲ではフラス(木屑)が確認される

一般会計補正予算
(第6号)

物価高騰対応のための交付金等を計上

一般会計の歳入・歳出にそれぞれ3億5,709万7千円を追加し、予算総額を293億6,273万円としました。歳出の主なものとしては、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業に2億6,345万2千円、小中学校・義務教育学校の給食費支援事業に4,303万4千円、指定管理者及び公営企業電気料金高騰支援事業に1,238万2千円等を計上しました。

■ 令和5年度各会計補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第5号	8億7,871万3千円	290億 563万3千円
	第6号	3億5,709万7千円	293億6,273万 円
特別会計	国民健康保険(第2号)	176万 円	54億4,822万4千円
	後期高齢者医療(第2号)	2,355万8千円	7億7,957万2千円
	介護保険(第2号)	1,924万7千円	47億5,096万5千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業(第2号)	300万 円	1億3,955万8千円
	仁良川地区土地区画整理事業(第2号)	6,017万2千円	5億 476万7千円

■ 令和5年度企業会計補正予算

区分			補正額	補正後の予算額
下水道事業(第1号)	資本的収支	収入	20万9千円	9億3,025万 円
		支出	20万9千円	15億4,142万4千円
下水道事業(第2号)	収益的収支	収入	87万9千円	23億 359万3千円
水道事業(第2号)		収入	▲104万6千円	10億2,578万5千円
		支出	22万 円	10億2,964万1千円

条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

国民健康保険税条例の一部改正

令和5年4月1日に、地方税法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことにより、令和6年度の後期高齢者支援金の課税限度額のみ下記の通り改訂となります。

区分	条項	課税限度額		
		令和5年度	令和6年度	増減
医療保険分	第2条3項、 第23条1項	65万円	65万円	-
後期高齢者支援分		20万円	22万円	+2万円
介護給付金分		17万円	17万円	-
合計		102万円	104万円	+2万円

コミュニティセンター条例の一部改正

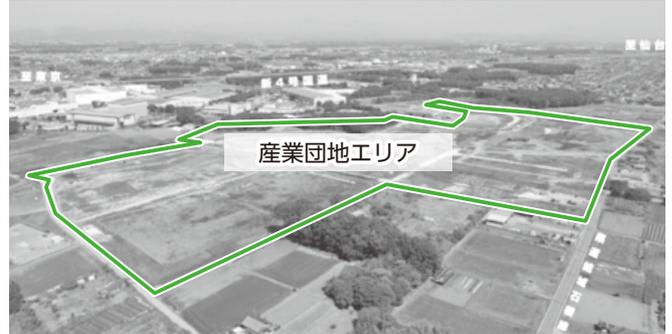
市管理施設となっている下野市コミュニティセンター東方館が、東方台地コミュニティ推進協議会による指定管理施設となるにあたり、下野市コミュニティセンター条例の一部を改正します。



コミュニティセンター東方館

しもつけ産業団地整備事業に伴う字の区域の変更

現在整備中のしもつけ産業団地の住所「字」の区域が変更になります。具体的には、下坪山、花田、絹板の産業団地エリア（下図）が、「しもつぼやまゆうきみちにし下坪山結城道西」に変更。



中小企業・小規模企業の振興に関する条例の一部改正

下野市中小企業・小規模企業の振興に関する条例（平成30年下野市条例第3号）の一部を下記の通り改正します。

・第5条に下記の項が加わります。

「中小・小規模企業者は、中小企業支援団体への加入に努めるものとする。」

総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

石橋駅自転車駐車場リノベーション事業 （5年度一般会計補正予算（第5号））

Q 補正予算 3,500万円増の内訳を伺う。

A 老朽化対策と地域のにぎわい創出に繋げる事業。当初の概算見積から工事費が6,000万円増額となったため5～6年度に補正予算を計上する。

下野市部設置条例の一部改正について

Q 6年度、「建設水道部」から「都市建設部」への改正では、どんな体制にするのか。

A 専門性を高め、市民サービスの向上と職員の育成を図ることを新組織の改正方針とした。担当課は、計画・企画部門を都市政策課、管理・保全部門を管理保全課、基盤整備部門を整備課とし、課の向かう方向性、業務内容を統一する。

別処山公園A球場ナイターLED化事業 （5年度一般会計補正予算（第5号））

Q 脱炭素化推進事業債として、1億1,070万円の補正額が計上された経緯について伺う。

A 令和4年度6月議会で、リース事業として補正予算を議決した。その後、資材費高騰等のため12月議会で一旦取下げた。改めて今年度の当初予算に設計費を計上し、リース・その他の事業について検討を行った。その結果、リース事業とせず、効率的な運営のできる修繕事業として取り組む方針に変更し、今回工事費を計上する。

早期完成を目指し、A・B球場に分割し工事を行う。今回の補正でA球場を、B球場は来年度の当初予算で施工したい。

指定管理者の指定について

下記の施設について、令和6年3月31日をもって指定管理期間が終了となることから、それぞれ指定管理者として再指定するための議案が可決しました。

指定期間は、いずれの施設も令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間です。

コミュニティセンター

施設名	指定管理者
上町コミュニティセンター	石橋上町コミュニティ推進協議会
栄町コミュニティセンター	栄町コミュニティ推進協議会
石橋駅前コミュニティセンター	石橋駅前コミュニティ推進協議会
石橋中央コミュニティセンター	石橋中央コミュニティ推進協議会
石北コミュニティセンター1号館	石北地区コミュニティ推進協議会
石北コミュニティセンター2号館	石北地区コミュニティ推進協議会
仁良川コミュニティセンター	仁良川コミュニティセンター運営協議会
グリーントウンコミュニティセンター	グリーントウンコミュニティ推進協議会
薬師寺コミュニティセンター	薬師寺地域コミュニティ推進協議会
姿西部考古台地コミュニティセンター	姿西部考古台地コミュニティ推進協議会
コミュニティセンター友愛館	東方台地コミュニティ推進協議会
コミュニティセンター東方館	東方台地コミュニティ推進協議会

保健福祉センターゆうゆう館

指定管理者：社会福祉法人 下野市社会福祉協議会

グリムの森・グリムの館

指定管理者：一般財団法人 グリムの里いしばし

道の駅しもつけ、ふれあい館、三王山ふれあい公園

指定管理者：株式会社 道の駅しもつけ

市民農園

指定管理者：公益財団法人 下野市農業公社

陳情第1号 選択的夫婦別姓の早期実現に関する陳情

陳情の趣旨

女性の社会進出や男女平等の理念、性的マイノリティの観点から、婚姻制度において夫婦別姓は強要するものではない。現制度の不利益を感じる若年層も多く、選択的夫婦別姓の早期実現に向けた議論を進めるよう、国会に対し意見書の提出を求めるものです。

総務常任委員会での意見

「今回の陳情が制度の是非ではなく、議論を求める要望であれば賛成である。」「本件は数十年も保留にされている現状もあり、議論を深め、我々も見識を広げるために応援したい。」「賛否ではなく議論の推進を求める内容であれば賛成である。」など、採択とすべき意見が出されました。

委員会表決の結果

賛成多数で「採択」

本会議表決の結果

賛成多数で「採択」



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎村尾 光子 ○松山 裕
秋山 幸男 石川 信夫 西本 由利子 坂倉 司

議案第43号 令和5年度一般会計補正予算(第5号)

指定管理料

- Q** 薬師寺コミュニティセンターの指定管理料が他と比較して高額である理由を伺う。
- A** 樹木管理を含め、業務内容が他と異なることから金額に差がでるため。

石橋駅自転車駐車場リノベーション事業

- Q** 当初設計でカード決済機器があったが、断念した理由と今後の予定を伺う。
- A** 人による管理のメリットと機器導入のコスト面を検討した。将来的には人と機器が共存できる方向も可能である。

移住支援

- Q** 地方創生推進事業1,750万円の内訳を伺う。
- A** 当初予算は1,120万円だが、今後の転入見込み者を足すと合計2,870万円となる。今後、転入済みで申請可能な件数と相談があった件数が合わせて9件ある。

給与費明細

- Q** 会計年度職員の期末手当は全員が対象か伺う。
- A** 対象者は358名中238名で、基本的に6か月以上の任用期間という条件等に合致する者である。

経済建設常任委員会

◎貝木 幸男 ○金子 康法
小谷野 晴夫 石田 陽一 五戸 豊弘 石川 浩

議案第43号 令和5年度一般会計補正予算(第5号)

土木費国庫補助金

- Q** 土木費国庫補助金における「道路橋梁費補助金」の減額理由を伺う。
- A** 自治医大駅周辺整備に係る補助金であり、駅西口トイレと駐輪場整備の事業費を減額したため。道路メンテナンス事業費補助金は、国の内示額が当初見込みより減額されたため。

観光費 道路維持費 公園費

- Q** 「クビアカツヤカミキリ被害木伐採」の事業内容を伺う。
- A** 天平の丘公園他9本の被害木を伐採予定。
- Q** 各所管施設における通報体制はどうか。
- A** 定期的な点検・巡回を行い、適宜通報を受けられる体制を取り、適切な対応に努める。

農林水産業費県補助金

- Q** 「農業水利施設省エネルギー化推進事業費補助金」の補助内容を伺う。
- A** 国の補助金で令和4年度の繰越事業。農業施設で省エネルギー化に取り組む土地改良区に対し、電気料高騰分の補助を行う。国分寺と石橋の両土地改良区が対象、エネルギー価格高騰分の7割を上限に交付する。

議案第62号 下野市民農園における指定管理者の指定について

- Q** 指定管理者の審査基準及び管理者の管理範囲を伺う。
- A** 条例に基づき選定委員会を開き審査する。管理範囲はクラブハウス・農園一式の管理及び除草管理である。

議案第48号 令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

- Q** 土地区画整理事業の補正額6千万円の内容を伺う。
- A** 下坪山工業団地交差点西側の都市計画道路における南側側溝の敷設工事費、及び道路拡張工事費、その他造成工事・移転費用である。

議案第43号 令和5年度一般会計補正予算(第5号)

民生費国庫補助金

Q 子どものための教育・保育給付交付金を伺う。

A 教育・保育施設に対するサービス給付費であり、施設は市内14施設、市外24施設、子ども1,924人分の通園に対する給付であり、国負担はおよそ2分の1、県・市がそれぞれ約4分の1負担となる。

障がい福祉費

Q 福祉タクシー事業(※)の利用助成について補正の理由を伺う。

A 福祉タクシー券の助成について乗車1回当たりの利用枚数の見直しを行い、介助券の配布枚数を1カ月4枚から6枚へ増やし、不足額を補正する。

(※) 福祉タクシー事業・・・通院等で通常の交通機関を利用することが困難な障がいをお持ちの方等への外出支援のため、利用券と介助券を交付する事業

小中学校の学校管理費並びに文化財保護費

Q クビアカツヤカミキリ被害木伐採について経緯と処理方法を伺う。

A 県内で足利・佐野地区に被害が確認された。その被害エリアが拡大していることから、本市でも調査した結果、被害が確認された。処理については県や国からの指示により、伐採し焼却処分となる。

市議会主催講演会を開催しました

講演テーマ：「多発する異常気象と天気予報の活用」～下野市の災害対策とは～

講師：田代大輔先生(気象予報士/防災士)

10月21日に講演会が行われました。

最近の傾向として、桜の開花が早く、台風や線状降水帯による豪雨、そして記録的な猛暑。背景には、海面水温の上昇や黒潮の大蛇行なども原因とされている。栃木県の気象災害として2019年の台風19号が例に挙げられた。県内全域で大雨となったが、県北部・西部の山沿いでは激しい豪雨となった。下野市を流れる姿川・田川の上流域でも豪雨となり、下流域の下野市でも河川水害が発生した。この災害の仕組みなどの説明があり、防災について天気予報の情報を事前に知る事で、被害を最小限に抑える為の心がけなども学びました。

その他、地球温暖化や線状降水帯のでき方や事例なども聞き、今後は、情報(天気予報)に注目して警戒レベルに合わせた行動が必要であると認識させて頂きました。

(伊藤陽一)



議 会 の 動 き

11月

- 6日～7日 総務常任委員会行政視察
- 8日 教育福祉常任委員会
- 10日 小山広域保健衛生組合議会第3回定例会
- 13日 総務常任委員会
全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会・議会だより編集委員会
- 30日 議場コンサート
- 30日～12月15日 第4回定例会

12月

- 6日 総務常任委員会
- 7日 教育福祉常任委員会
- 8日 経済建設常任委員会
- 13日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 15日 議会だより編集委員会

- 18日 石橋消防組合議会
- 21日 地域包括支援員と教育福祉常任委員会との懇談会
- 25日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：教育福祉常任委員会)
- 26日 商工会女性部と経済建設常任委員会との懇談会・議会だより編集委員会

令和6年1月

- 10日 総務常任委員会
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 議会活性化特別委員会小委員会
- 22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
(出演者：総務常任委員会)
- 23日 千葉県君津市行政視察来庁
- 25日 議会だより編集委員会
- 26日 議会運営委員会
- 29日 県央6市議会議長会議・総務常任委員会
- 31日 全国市議会議長会基地協議会第87回総会

第4回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉司	山下みゆき	西本由利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子	
議案43号	令和5年度下野市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案44号	令和5年度下野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案45号	令和5年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案46号	令和5年度下野市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案47号	令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案48号	令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案49号	令和5年度下野市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案68号	令和5年度下野市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和5年陳情1号	選択的夫婦別姓の早期実現に関する陳情	採択	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
[追]議案6号	選択的夫婦別姓制度の議論の推進を求める意見書の提出について	可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 (石田陽一議長は表決に加わらない)

全会一致で可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
諮問3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	議案60号	下野市保健福祉センターゆうゆう館における指定管理者の指定について
議案50号	下野市コミュニティセンター条例の一部改正について	議案61号	下野市ふれあい館における指定管理者の指定について
議案51号	下野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	議案62号	下野市市民農園における指定管理者の指定について
議案52号	下野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	議案63号	道の駅しもつけにおける指定管理者の指定について
議案53号	下野市職員の給与に関する条例及び下野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	議案64号	三王山ふれあい公園施設における指定管理者の指定について
議案54号	下野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び下野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	議案65号	グリムの森・グリムの館における指定管理者の指定について
議案55号	下野市部設置条例の一部改正について	議案66号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について
議案56号	下野市国民健康保険税条例の一部改正について	議案67号	しもつけ産業団地整備事業に伴う字の区域の変更について
議案57号	下野市中小企業・小規模企業の振興に関する条例の一部改正について	[追]議案69号	令和5年度下野市水道事業会計補正予算（第2号）
議案58号	下野市農業集落排水施設条例の一部改正について	[追]議案70号	令和5年度下野市下水道事業会計補正予算（第2号）
議案59号	下野市コミュニティセンターにおける指定管理者の指定について	[追]議案71号	下野市手数料条例の一部改正について

[追]・・・追加議案

審議結果

議会年間スケジュール



第1回定例会 (3月議会)の予定

※会議の予定は変更になることがあります。
※日程が決定次第、市議会ホームページでお知らせいたします。

日	月	火	水	木	金	土
2月18日	19	20	21	22	23	24
			本会議 開会		天皇誕生日	
25	26	27	28	29	3月1日	2
	代表質問	一般質問	一般質問		常任委員会	
3	4	5	6	7	8	9
	常任委員会					
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
	本会議 閉会		春分の日			

市政を問う 一般質問



一般質問はインターネットで動画を公開しています。各議員の記事右上の2次元コードによりご覧ください。

第4回定例会では、13名の議員が市政に対し質問を行いました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【個人質問】

- 1. 大島 昌弘 議員……………P 8
- 2. 小谷野晴夫 議員……………P 9
- 3. 西本由利子 議員……………P 9
- 4. 伊藤 陽一 議員……………P 10
- 5. 相澤 康男 議員……………P 10
- 6. 鈴木 一司 議員……………P 11
- 7. 石川 浩 議員……………P 11
- 8. 五戸 豊弘 議員……………P 12
- 9. 金子 康法 議員……………P 12
- 10. 石川 信夫 議員……………P 13
- 11. 加藤 好雄 議員……………P 13
- 12. 村尾 光子 議員……………P 14
- 13. 山下みゆき 議員……………P 14

一般質問



個人質問



おおしままさひろ
大島昌弘議員が問う

教育政策

市長公約の教育政策について伺う

教育長 小中一貫教育を核とした地域と共にある学校づくりをしていく

Q 小学校、中学校の今後の改修や狭い校庭の改善、通学路の安全確保など、良好な教育環境づくりについて伺う。

A **教育長** 本市では、学校施設の長寿命化、学校の適正配置及び小中一貫教育の推進に留意しながら施設改修については予防保全型の管理をしていく。学校の適正配置の視点については下野市学校配置基本計画策定委員会において取組状況の検証等を行っている。国分寺小学校及び国分寺中学校の狭い校庭の改善については、10月に下野市立国分寺中学校区学校建設準備委員会を設置し、国分寺中学校区における学校建設の在り方と方法の検討を始め、来年度の早い段階で検討報告書を取りまとめる。



国分寺中学校



国分寺小学校



国分寺東小学校

Q 市内全校における小中一貫教育の検証について伺う。

A **教育長** 平成31年度から市内全中学校区において小中一貫教育を導入し、全国学力学習状況調査から、8つの結果を成果目標とし、各中学校区の成果を市全体で共有・検証し、小中一貫教育を核とした地域と共にある学校づくりをする。



個人質問



こやのはるお
小谷野晴夫 議員が問う

带状疱疹

带状疱疹ワクチン接種への補助を

市長 令和6年4月からの助成開始に向けて準備を進めたい

Q 私は、昨年の第4回定例会の一般質問においても带状疱疹ワクチン接種への補助を要望したが、市長は「国の動向を注視しつつ、小山医師会下野支部の先生方の意見を伺いながら検討したい」とのことだった。

県内の状況は、4市4町で実施されている。「医療と福祉のまち、下野市」をうたっている本市においても、遅れることのないよう早急に対応してほしい。

A **市長** 医師の医療懇談会小山地区医師会下野支部において「早期治療もしくはワクチン接種を受けていれば重症化を防ぐことができるのではないか、市が接種費用の助成をしてくれるなら、市民はとても喜ぶと思う」との意見をいただいたところである。

市民の皆様の経済的負担を軽減するため、接種費用の一部を助成する制度を、既に先行している県内の市町の状況を参考にしながら、令和6年4月から導入するために準備を進めていきたい。



個人質問



にしもとゆりこ
西本由利子 議員が問う

母親支援

母親を支える市の体制づくりを伺う

市長 産後ケア無料、保育施設制度を緩和する

Q 保育制度の在り方や一時預かりサービスの充実がさらに必要ではないか。

A **市長** 産後ケアの無料化のほか、育児休業中の兄弟の保育施設への継続入園制度を見直し、来年4月以降から、現在の産後6ヶ月から1年以内の仕事復帰を条件に継続入園を可能とする。また、利用が増加するファミリーサポート制度の担い手となる支援提供会員の確保に取り組む。

Q 利用が急増するファミリーサポート制度を今後どのように支援していくのか。

A **市長** 支援の担い手となる提供会員の確保に向け市ボランティアバンクや社会福祉協議会ボランティアセンターへの周知に努め、提供会員の確保に取り組む。

Q 母親を孤立させない家庭教育講座の機会を増やす必要があるのではないか。

A **教育長** 来年度は、家庭教育講座「ママナビ」を現在の一部地域から市内全ての小学校で実施できるよう調整をすすめている。同時に、家庭教育講座を実践する指導者研修についても、さらに広く周知・参加を募り家庭教育支援者の確保に努める。



家庭教育講座の様子



個人質問



いとう よういち
伊藤陽一 議員が問う

学校跡地

吉田東・西小学校跡地の利活用方針を伺う

市長

地域の方々の声や思いを十分に聞いて進めていく事が重要である

Q 吉田東・西小学校跡地の利活用方針を伺う。まず、地域の子育て機能を維持するため、吉田東小学校跡地へ吉田保育園の機能移設は可能か。次に地域の農業者が酒米の生産拡大を図りたい意向で吉田西小跡地の体育館等を活用したいと聞いている。そして吉田地区コミュニティ推進協議会が設立されたが、南河内東公民館を活動拠点とする考えはあるか。各々を伺う。

A 市長 吉田東小学校跡地の利活用は学校施設の技術的基準をクリアできるため、学校法人愛泉学園と調整を行い実現可能と判断した。吉田西小学校跡地の体育館等の利活用は、酒米栽培の高付加価値化やブランド化が新たな地域農業の活性化、発展につながる取組であると考えている。

A 総合政策部長 南河内東公民館を吉田地区コミュニティ推進協議会が利活用する場合は、指定管理者として管理運営をお願いすると思う。



吉田東小学校



吉田西小学校



個人質問



あいざわ やすお
相澤康男 議員が問う

新規就農

新規就農者への今後の対応は

市長

農業技術を指導する農家に対し、助成金を交付する

Q 新規就農マッチングが始まっているが今後の対応を伺う。

A 市長 意欲ある農業研修者に対し、市が主体となって希望する作物に合った受け入れ農家から洗練された技術指導を受けられるよう、受け入れ環境を整備する。

Q 離農者の農業施設を新規就農者に活用出来るような方策について伺う。

A 市長 農業施設の利活用の考え方についてアンケート調査をし、就農者が就農しやすい環境を整え、新たに効果的な制度創設に向けた検討を進める。

Q 農業研修者受け入れ農家に対する助成アップの考えはないか伺う。

A 産業振興部長 本年度より県内他市町に先駆けて助成金を交付する。下野市農業研修者受入支援事業制度を創設し、研修者1名につき月額3万円、最長2年間助成制度について今後検証していく。



新規就農
8年目です。
ナス、春菊、タマネギ等を育てています。

手塚夫妻 春菊のビニールハウスにて



個人質問



かず し 鈴木一司 議員が問う

自立支援

不登校対策で校内教育支援センター設置を！

教育長

多様な児童・生徒のニーズに応じられるよう対応に努める

Q 年々増加傾向にある不登校対策・支援に、校内教育支援センター（校内教室）を市内小中学校全校に設置できないか伺う。

A 教育長 令和5年3月に文部科学省策定の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」COCOLOプランにおいて不登校対策が示された。小さなSOSを見逃さない対応として一人ひとりに応じた、きめ細やかな指導を行うため、チーム学校で支援・指導を行っている。今後必要な場合は、円滑に設置できる体制を整えておく必要があると考えている。

Q 落ち着いた空間で学習、生活できる環境整備、そして個々のニーズに応じた居場所づくりからも、校内教室の必要性について、市長の考えを伺う。

A 市長 子どもたちの居場所づくりの観点から、将来的には、ぜひ設置すべきと考えている。国の方針も、できるだけ校内に居場所をつくる方向性を示している。市執行部として、子どもたちの居場所づくりに向け、教育委員会を支援していきたいと考えている。



文科省策定「COCOLOプラン」



個人質問



ひろし 石川浩 議員が問う

生活介護

就労困難な生活介護利用者への対応

市長

社会福祉に対する補助制度充実、職員処遇改善を国や県に要望する

Q 市内には知的障がい者、身体障がい者等を受け入れている多くの障がい者福祉施設がある。

18歳未満の知的障がい者の子供達は特別支援学校の中で、自立と社会参加に向けた学習を行っているが、卒業後、就労が困難な重度障がい者が公的老人ホームに入所できる64歳までの長期間の対応・仕組みはどうなっているのか。18歳までは公的な仕組み・教育機関で守られているが、卒業後の生活介護利用者の行き場が少なく、守る仕組みを伺う。

A 市長 就労が困難な重度障がい者の方には、障がい福祉サービスによる介護支援を行っているが、利用者のニーズに対して市内には生活介護施設、入所施設が少ないことから、受け皿を整備する必要性を感じている。現在新たに障がい福祉サービス事業所を開設する場合には、整備費に対し、国と県が補助制度を設けている。しかし、予算の制約もある。障がい福祉サービス事業所の更なる充実と障がい福祉サービスに係る人材確保の為に、社会福祉施設整備費に対する補助制度の拡充及び障がい福祉サービス事業所職員の更なる処遇改善について国や県に要望する。

特別支援学校卒業後の子供たち

- ・就労継続支援A型：
雇用契約を結び、給料をもらう
 - ・就労継続支援B型：
雇用契約を結ばずに、工賃をもらう
- 上記、A型やB型ではない生活介護利用者の子供たちの卒業後の行き場、守る仕組みはどうなっているのか？



一般質問



個人質問



ごのへとよひろ
五戸豊弘議員が問う

ごみ分別

ごみ置き場に、外国語表示の掲示板を

市長 来年度から外国語表記を行う

Q 近年、下野市にも多くの外国人労働者が増えて住んでいる。そのような中、集合住宅のごみ分別が分からない方のために、外国語表示の掲示板をつけるなどの分別の周知や、パンフレット等配布について市の考えを伺う。

A **市長** 外国人の方のごみの出し方については、ゴミ集積所を管理するアパートの管理会社等に対し、ゴミ集積所の使い方などのルールについて外国語を併記した表示や、各居住者への指導について要請していく。また、市ホームページ上で掲載している行政カレンダーでは、ごみの分別収集について9か国語に対応した表記を行っているが、今年度末より各家庭に配布予定の行政カレンダーについても、4か国語による表記に変更する予定である。ごみのルールブックや分別アプリ（さんあ〜る）についても次回改訂から外国語表示に対応する予定である。

A **市民生活部長** ごみ分別については、各戸に行政カレンダーという形でお渡ししている。外国語表示のチラシ等についても、今後作成して、各不動産会社や、家主に要請をして配布可能ではないかと考えている。

ルール違反のごみは収集しません

- ◆分別されていないごみ
- ◆出し方が違っているごみ
- ◆出す日が違っているごみ
- ◆ステーション収集後に出されたごみ



ごみステーションの環境美化確保のため、また、ステーション当番の方の負担軽減のため、ルールを守ってごみを出しましょう



個人質問



かねこやすのり
金子康法議員が問う

消防分団

消防団員減少対策は？女性活躍の場作りを！

市長 活動範囲を限定した『機能別消防団』の導入実現に向け、検討する

Q 現状の消防団員減少問題には、市のリーダーシップのもと、新たな対策が必要ではないか。

A **市長** 従来の広報、口コミ等ばかりでなく、新たな方策として参加可能な範囲で活動する『機能別消防団』の導入実現に向けて検討する。

Q 女性団員ゼロだが、女性活躍の場を作れないか。

A **市長** 性別関係なく、女性団員確保PRにも努めたい。

Q 民間企業にもっと協力頂けるよう検討できないか。

A **市長** 従業員の団員推薦、広報誌への協力支援等、他市例を参考に検討したい。

Q 団員としてのメリット・成長できる魅力等を、もっとアピールすべきではないか。

A **市長** 関係資格取得時の優遇措置、魅力等をもっと広くPR徹底できるよう検討する。

下野市消防団の団員数
令和5年12月1日時点

区分	団員数
条例定数	458
実員数	391
男性団員数	391
女性団員数	0
大規模災害団員数	0
その他の機能別団員数	0

下水道受益者負担金の格差解消について

Q 受益者負担金は、市街化区域内については一律だが、市街化調整区域の場合、著しい格差がある。速やかに解消し統一すべきだが、どうか。

A **市長** 先に検討委員会を実施し、新規地区は負担率を統一、既設地域は地域毎に均一負担額とした。



個人質問



いし かわ のぶ お
石川信夫議員が問う

雑草雑木

雑草木を放置している理由を確認しているか

市民生活 個人所有の土地管理は市として限界があるが引き続き通知していく
部 長

Q 今夏は例年より空き地、空き家の雑草や雑木の相談が多かった。小動物が住み着いたり、毛虫が庭に入ってきたり、枝が他の家に伸長したり、樹木が相当の高さになっている空き家もある。担当課に相談しても、思うように事が進まない所もある。このような空き地、空き家への対応はどのようにされているのか。

A 市長 空き家は年々増加しており、問題も深刻化している。空き地、空き家の雑草繁茂の相談件数は本年10月末日現在、空き地57件、空き家38件となっている。現地確認後、空き地所有者へ通知をする。9割は適正対処してくれるが、未処理の方には再度通知をしている。それでも改善されない場合は、勧告書の送付や指導も行う。また遠方の方等、所有者に代わって草刈りを受託し、除草を行う事業も実施している。

A 市民生活部長 民法改正により、隣地から伸びた枝が催告しても相当の期間切除しない時や所有者を知ることができない時、喫緊の事情がある時は、自ら切り取ることが可能となった。



個人質問



か とう よし お
加藤好雄議員が問う

ごみ削減

単純指定袋制^{*}の導入で ごみ減量化は可能か？

市長 令和9年までに5,000 t /年の削減目標に向け着実に取り組んでいく

Q 指定ごみ袋制の導入に向けた説明会では多くの市民から貴重な意見や質問が出されたが、どのように市政へ反映するのか。

A 市長 基本方針の協議結果と併せて、市のホームページや広報紙に掲載し公表する。1月下旬～2月にパブリックコメント、3月に基本方針を確定後、4月以降に改めて指定袋制度やごみの分別に関する説明会を開催して周知を図る。

Q 「もやすしくないごみ」の名称は東日本で初となるが、名称統一と販売価格について伺う。

A 市長 行政カレンダーやルールブック、分別アプリを更新し表記を統一する。価格は45L標準サイズで10.5円～25円/枚を想定している。

Q 矢板市や益子町、高根沢町では製品プラスチックの分別収集が既に実施されている。紙カップ(禁忌品)等を含めた分別収集や再資源化が進まない理由は何か。

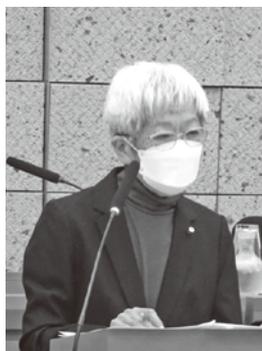
A 市長 プラスチック資源循環法に基づく分別、再資源化を図れる施設整備を早急に対応できるよう、小山広域保健衛生組合に提案し協議を続ける。

「指定袋制度」

指定袋制度はごみを捨てる際に自治体が指定するごみ袋(指定袋)に限定することで、ごみの排出を適正化・減量化する制度です。指定袋制度は袋の代金にごみ処理手数料を含む「有料指定袋制度」とごみ処理手数料を含まない「単純指定袋制度」の二つに分けられ、今回導入を検討しているのは「単純指定袋制度」になります。



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」下野市(左)と質問中で言及した情報発信の工夫がみられる高崎市(右)発信を工夫し啓発活動に有効活用してほしい



個人質問



むら お みつ こ
村尾光子 議員が問う

入札制度

本市の入札制度、透明性確保は万全か

市長 取り分け方式等入札の実施基準については早急に公表する

Q 入札執行時には「取り分け」方式が実施されているようだ。導入された時期とその理由、過去5年間の実施件数、効果、今後の方針等を伺う。

A 市長 取り分け方式は、複数の工事等について同時期に入札を行う場合に、先に行った入札で落札者となったものは次の入札には参加できない条件で実施する。また、既に近接して同種の工事を受注している業者がいる場合にも、安全管理や材料調達面で、有利にならないよう、当該受注済み業者は入札に参加しても落札者になることはできないという取扱いもしている。平成18年の3町合併当初から取り分け方式の入札を実施しており、該当した入札は過去5年間で27件であった。今後も、取り分け方式対象とする工事等の改善点を精査し、内容の拡充に向けて研究する。

Q 取り分け方式を適用させる基準は何か。また、この方式を導入していることを広く公表すべきではないか。

A 市長 現在、取り分け方式で行う入札については、対象案件ごとの入札公告に記載して入札参加者への周知を図っているが、基準等については公表していない。市の取組についてお知らせする上でも必要なので、早急に公表する。

A 総務部長 コンサルタント委託分野についても研究する。



個人質問



やま した
山下みゆき 議員が問う

環境循環

市役所を憩いの場に！！ 小中学校で循環型教育

市長 気軽に来られる市役所を目指す環境教育を構築し推進する

Q 固定観念を取り払い市役所をみんなの憩いの場や、居場所の提供をして活用しませんか。

A 市長 休憩スペースなど年度内に設置完了できるよう進める。

Q 芝生広場にインクルーシブ遊具設置の検討をできないか。

A 市長 インクルーシブ遊具設置はスペースの関係で難しいが、今後研究する。

Q 2Fテラスの開放やFreeWi-Fi設置カフェの設置の検討をできないか。

A 市長 安全面から解放はできないが、快適な環境作りを進めたい。

Q 校庭に畑を設置しては如何か。

A 教育長 小学校9校のうち8校には畑がある。

Q 植木鉢で植物の授業をするのではなく全校生徒が一つの畑で肥料作りから収穫までが学べる教育を。

A 教育長 地域の農家に赴き農業体験をしている。



市役所は、みんなの憩いの場♪

各委員会の行政視察調査報告

かみす防災アリーナの機能について (茨城県神栖市 11月6日)



面積、人口とも本市の2倍以上、財政力も高く不交付団体。土木研究所跡地への新市庁舎建設計画を変更して、かみす防災アリーナを整備した。国有地譲渡と無償貸与を受け、PFI方式で168億円を投じた、神栖中央公園と一体型の施設である。施設整備費121億円の40%は整備期間中に支払い、60%は15年間の分割払い、維持管理運営費50億6千万円は15年間の分割払いで、双方で年間8億5千万円を支出している。災害時には1万人を受け入れられる避難所であるが、平時にはアリーナ、温水プール、300席の小ホールに市民が集える賑わい創設の場だった。

自治体のDXについて (茨城県笠間市 11月7日)

平成18年に1市2町が合併し、市域は本市の3倍近く、人口約7万人の笠間市は、平成20年度から情報化推進に取り組んでいる。特に目を引く施策は「動く市役所」で、事業費に約2,330万円(マルチタスク車両に1,650万円、デジタル汎用窓口導入運用委託671万円)を投じて設備を整備し、実証実験の後、令和4年度からモデル地区で週1日運用している。利用内容はこども育成相談、各種申請、特定保健指導等で、多くの利用者は病院と連携したオンライン診療を望んでおり、今後の課題は乗務員確保や予約制導入等とのことだった。他に電子契約、スマホ無料相談窓口等について研修した。



総務常任委員会

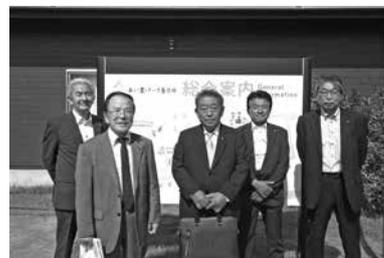
スマートインターチェンジ周辺整備・開発について (岐阜県安八郡安八町 10月12日)



安八町では、平成19年にはスマートインターチェンジ(以下SIC)整備構想を立ち上げ、大手企業撤退にも拘わらず、これを町の危機と捉え、SICを町の危機を救う「夢の架け橋」として整備し、16社の企業進出、約700人の新規雇用を創出した。更には、SICに隣接する区域内27haを工業団地として整備分譲し「夢の架け橋の先にある、町の未来を担う最重要事項」として町主導で取り組んでいる。SIC完成間近の本市として、町全体で取り組む先進安八町を是非、参考に活かしていきたい。

あい農パーク春日井について (愛知県春日井市 10月13日)

春日井市の「あい農パーク春日井」(市民農園)は収穫体験・栽培体験・貸し農園の3種を利用でき、他に遊具のある広場・カフェ等娯楽施設の他、学童保育として利用できる多目的室がある。この施設から、農業に関心の高い人口を増やし、農業の担い手にまで繋がることを期待しているとのこと。この施設には栽培指導員が4名おり、いつでも相談できる体制は非常に心強く、農業へのハードルも低くなっている。春日井市の取組は農業が抱える様々な問題を解決する手段として、今後の市民農園の在り方を考える参考にした。



経済建設常任委員会

農福連携について (高知県南国市「エンジェルガーデン南国」 10月18日)



障がい者就労継続支援B型事業所であるエンジェルガーデン南国は、自家農園においてグアバなどを栽培し、自社工場で加工、販売している。代表の西川一司氏が、特別支援学校の教員を32年間経験したのち、2017年に設立した。全てのスタッフが働くことの幸せを感じ、自立できる環境づくりを目指して活動している。障がいのある子どもたちの将来を思い設立した農園であり、思いが強いからこそ6次産業にまで発展したのだと感じた。

高松第一学園(小中一貫校)について (香川県高松市 10月19日)

高松第一学園は、平成22年4月に近隣の小・中学校が統合し、四国で最初の施設一体型小中一貫教育校として開校し14年目を迎えた。義務教育9年間を見通し、従来の6・3制とI期からIII期による4・3・2制の融合が特徴的な枠組みとなっており、4つの壁(いわゆる「中1ギャップ」)と9歳の壁をゆるやかに乗り越えることができるよう、4・3・2制を取り入れた小中一貫教育が進められている。1,000人弱の児童が登校し、不登校は0とのこと。子どもの自主性で運営する教育現場は圧巻だった。



教育福祉常任委員会

議会の話題



令和6年能登半島地震に対する義援金を贈りました

去る1月1日に発生した能登半島地震による被災者を支援するため、市議会として義援金に18万円を贈りました。義援金は、北信越市議会議長会を通じ、被災地域の支援に拠出されます。

議会だより編集委員会 行政視察調査報告

1日目 (10月30日)

寄居町

寄居町議会では、「読まれない議会だよりは出す意味なし!」という編集方針のもと、とりわけ表紙には熱意を傾けてきた。まず編集方針を明確にすることが重要であり、「市民に見たい・読みたいと思わせる表紙にするためにはどんな写真が適しているか」、議会だより全体として「今、何を市民に議会として伝えるべきか」を議論していくことが必要であると感じた。

小川町

小川町議会では、写真の重要性を特に認識していた。また、必要に応じて、町民の注目度が高い重要な話題や一般質問の内容を補完する資料として、インターネットにアップロードし、2次元コードが活用されており、記事内容を各議員視点で独自に補完する動画というメディア活用についても検討したい。



2日目 (10月31日)

会議録センター (研修)

一般質問関連写真の「もの言う写真」と、訴求力を持ち情報補完のできる効果的な「キャプション」の重要性を学ぶことができた。「もの言う写真」への5カ条、①現場に足を運ぶべし、②考えてねらい撮り、③見て分かる・考えさせる・訴える、④人が映っていればなおよし、⑤良いキャプションがあれば大丈夫、をまずは編集委員が実践したい。



市民と議員の意見交換会(議会報告会)を開催します

事前申し込みは不要です。
たくさんの方のご来場をお待ちしています。

■日時 3月22日(金) 午後6時30分～午後8時
■場所 市役所3階会議室
■問い合わせ 議会事務局 議事課 ☎(32)8914

ぎかいだより クイズ

1

議場コンサートの演奏者は○人でした。

2

市内でも増えているクビ○○ツヤカミキリ被害。

3

福祉タクシーの介助券は4枚から○枚へ増えました。

《前号のクイズの答え》①:15 ②:石橋 ③:印

《応募方法》

①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法でご応募ください。

正解者の中から、抽選で5名の方に「道の駅しもつけで選んだおすすめセット」をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局

「議会だよりクイズコーナー」宛

《しめきり》 3月15日(金) (当日消印有効)

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね!》

編集後記

コロナ感染症が5類になりコロナ規制前にほぼ戻りつつ、市内の各イベントの開催も再開してきたようです。

議会活動、各委員会活動においても他県への行政視察が再開しました。本誌でも行政視察の報告が4件あり、各委員会の報告においては本市風にアレンジして取り入れられる内容の報告も見られました。未来の本市に良い風が吹く事を期待しております。

また、3常任委員会でご所管に係る団体の方々との懇談会も行われました。これについての報告は、今号の編集に間に合わなかったため次号での報告になりますが、活発な意見交換が出来たようでした。

このように、議会活動、委員会活動がコロナ規制前に戻りながら本来の活動範囲に広がる事で、更に本誌を通して市民の方々に議会、委員会の活動にご理解を頂き、本市の発展に繋がれば良いと思っております。(伊藤陽一)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話 0285(43)1236

発行 栃木県下野市議会 編集 議会だより編集委員会

委員長 村尾 光子
副委員長 伊藤 陽一
委員 山下みゆき
西本由利子
石川 浩
金子 康法

※次号 (No.72)は5月15日に発行します
下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約22円です。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。